



こんにちは、子供の頃、水溜りに張った氷を割る感触が大好きで、小学校に行く途中に足で割ってしまった、植木守です。

3月といえば雪解けです。水溜りの季節です。つい油断して歩いて「泥水がはねた」とならないように気をつけてくださいね。

PC サポート+居酒屋！

3月5日(金曜日)に久しぶりにkさんと居酒屋へ行きました。今回は、彼が運営しているホームページに設置するプログラムの件で顔を出し、その帰りに居酒屋へ行こうと、約束していました。

こんちきしょ～動かない！



k氏のホームページ

当日は、プログラムをホームページにセッティングして動作確認をした後に、居酒屋へ行く予定でした。

ところが・・・プログラムを彼のホームページへ送り、手順通りに設定しても動作しないのです。

私は、「はは～ん、やっぱり起きたか」と彼に言うと彼は「説明書通りに設定しているのにだめなんですか？」聞く。私は「そうなんだよ！ 私も良く分からないけど・・・」、「その為に私のホームページで動作確認をしているバージョンを持ってきたよ」と言いながら手順通りやるのだけれど上手くいかない。

あきらめて居酒屋へ！

その後、手順書どおり何度か試したけれど、正常に動かないのです。時刻は7時過ぎ、腹も減ってきたし、あきらめて居酒屋へ行く事にしました。



k氏と20歳のサキさん

その居酒屋は異業種交流会でよく使う「飯場 狼36店」というお店。

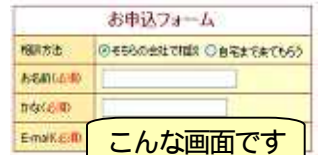


久しぶり～

お店に着くと店のメンバーが若いのに脅かされる。ビールを運んできたのは20歳の“サキ”さん若いのにしっかり者、後日、挨拶はがきが来ていました。次回は、プログラムを動かそうと約束し分かれました。

プログラムが動いた～！

1週間後、k氏からのメールで、プログラムの開発者のサポートを受け「動いた」の連絡を受け、使用方法の説明に行ってきました。このプログラムは、ホームページを見た人から問合せを受ける為に使います。ユーザはホームページの入力項目へ、氏名・問合せ内容等を書込み、“送信ボタン”を押すとk氏にメールが届き、同時にユーザへ確認メールが送信される。



1時間ほどの作業と説明で予定通り終わったのです。

帰りにkさんの実家の襟裳特製日高昆布をもらって帰ったのです。良かった良かった。

建築の講師は84歳！

Wkさんは満84歳、専門学校で建築デザインの教科を受け持つ現役の先生、第2の人生60歳から24年の間続けている大ベテラン。



Wkさん

前回の「ほのぼの通信」を届けがてら、Wkさんの所へ遊びに行ってきた。Wkさんとは2年以上会っていないかと思ひます。

電話をして顔を出して、「いや～ご無沙汰しています」、「お変わり有りませんか」と聴くと、Wkさんは「毎週、月曜・火曜の講義を月曜だけにしたんです」、「2日続きは疲れて大変」と言うのです。



奥さま

Wkさんは、「講義の前日に予習をしていて、月曜日は講義と予習のダブル。疲れて大変なんです。」と言うのです。仕事柄、年配者との話は、昔の事とか孫



友人(深沢守三)の形見の銅像「少女」

の事が多いのですが、Wkさんは、最新の技術情報の話なのです。「ところでWkさんは、幾つになりましたか？」と聞くと、「84歳になりました」と言うのです。私が「凄いですね、平均寿命を上回りましたね」と言うと、「そうなんですよ、周りの同年代の人が減って淋しくなってきた・・・」と言いながらニコニコしているその顔は、80代には見えませんでした。

“お前百までわしゃ九十九まで”が似合いそうな仲の良いご夫婦です。暖かな気持ちになって帰りました。

いつまでも元気でね、私も80代まで挑戦します。